

VOCの公開測定行われる！

5月13, 14日吉野町に完成した木造住宅内のVOCとホルムアルデヒドの測定が公開で行われました。この住宅は、45号で紹介しましたように宮崎県の産直住宅で自然素材の家です。

測定には、(財)労働科学研究所、熊本大学医学部衛生学教室、鹿児島大学建築学部の先生方により行われました。14日の午後よりこの住宅の設計士さんを中心に産直住宅生産の職員の方や、測定に参加された先生方を講師に、一般市民や建築業者、学校関係者など40名くらいで勉強会がありました。

この木造住宅の特徴は

1. 基礎を高くして床下環境を良くすることで、防腐防蟻剤の使用を止めた。万一に備へ、蟻道を発見しやすいように、床下や外構に工夫をしてある。なを、一般に上棟後高さ1M位まで、防蟻処理をしていますが、これは無くても金融公庫は使えるようになっているそうです。
2. 床板を厚さ40mmの杉板とし、2階の床が1階の天井になっている。又、汚れ防止のため、自然塗料で仕上げ、子どもが舐めたとしても安全であると共に木の柔らかさを体感できる。
3. 壁は杉板や珪藻土を使い湿度の調整など室内環境を自然に保つようにしてある。

等、自然素材をふんだんに使った住宅です。

測定の詳細な結果はまだ報告されていませんが、速報としてホルムアルデヒドがリビングで、0.1ppmと予想以上に高い値を示したようです。その原因として、すでに入居されているので家具やその他の物からの影響が考えられるそうですがはっきりと確定は出来ません。また、VOCについても高い数値を示しているようですが、その殆どが植物由来物質であろうということです。この植物由来物質というのは森林浴の成分が大部分であり本来は人間をリラックスさせてくれる物であり我々にとっては有用な物質であるはずですが今の測定方法と基準では悪い結果として示されます。これについては今後見直されるそうです。

今回の測定からホルムアルデヒドの厚生省基準0.08ppmはかなり難しく単に材料だけではなく室内空気の循環などいろいろな方法を考える必要があります。

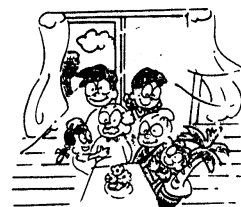
(シックハウスの関連記事を別紙に添付します。健康住宅という言葉は十分留意して使いましょう)

[商品情報] 乾燥材の普及が叫ばれていますが、乾燥機に入れさえすれば乾燥材だと勘違いをされている方がいるそうです。人工乾燥材とは含水率が20%前後に調整された材のことであり、いい加減な乾燥材は木材業界の将来に大きな禍根を残すことが懸念されます。じっくり時間をかければ自然乾燥でも大丈夫なはずです。(昔の住宅はすべて自然乾燥です)

《定休日》6月は3, 4, 10, 11, 17, 18, 24, 25日になります。

7月は2, 8, 9, 15, 16, 22, 23, 30日になります。

御協力宜しく願います。



(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)